

# 好気酵素 と 嫌気酵素

## 土壌微生物の気の関係（ステージ）について

土壌には、1グラムあたり数10億～数100億以上の微生物がいます。  
これらの微生物は、大別すると好気性（こうきせい）と嫌気性（けんきせい）の2種類に分けられ、それぞれに性質が異なります。

- 好気性微生物：酸素を好み吸収・成長を促す役割をもつ
- 嫌気性微生物：酸素を嫌い分解・発酵させる役割をもつ

この好気性・嫌気性の微生物の働きによって良い土壌が作られ、植物たちが元気に育ちます。

### <地球>

\*200年以上経った御神木  
～地球の気が入ってくる～

### 好気性の熟成酵素

材料＝樹木（チップ、おがくず）  
熟成・・・環境にやさしい

### <地上>

\*好気性微生物のエネルギーが高い  
～地上の植物すべてが、このエネルギーを必要としている～

- 樹木2 } 漢方・樹木（樹木の葉は成長するために枯れ落ちる）
- 樹木1 } 虫たちは樹木の若い葉に繁殖し、その虫は鳥のヒナを育てるためのエサとなる
- 竹3 } 漢方・竹（気が高い）
- 竹2 } パンダは竹をエサとする
- 竹1 }
- 草3 } 漢方・薬草（野生の草は枯れる）
- 草2 }
- 草1 }

## 〈土 壤〉

\*嫌気性微生物のエネルギーが高い  
～分解、発酵し微生物が増える  
そして根菜類の成長を促す～

## 嫌気性の堆肥

材料＝雑草、野菜残滓、植物  
発酵熟成・・・環境にやさしい

気が低いところには虫が寄ってくる  
その虫には毒があるので、鳥や動物たちは食べない

好気酵素をまいたキュウリの写真。まいた所には草が生えてこない。



運営：微生物研究会／NPO 法人地球友の会

お問い合わせ先：[gpnouhou2@gmail.com](mailto:gpnouhou2@gmail.com)